

目次

第1章

序論

1.1	研究の背景	1
	(1)我が国の高齢社会対策の動向	1
	(2)研究の背景	3
1.2	本研究の目的	5
	(1)高齢者の生活環境研究の視点と課題の整理	5
	(2)本研究の目的と方法	8
	(3)用語の整理	10
1.3	対象地域の位置づけ	12
	(1)高齢化の全国的展開と熊本県の占める地位	12
	(2)熊本市の人口と高齢化の現状	14
	(3)県・市の高齢社会対策	17
1.4	本論文の概要と構成	19
	注	21
	引用文献	25

第2章

熊本市における高齢者の外出状況の特徴と変化

2.1	目的と方法	27
2.2	PT調査データの特徴と加工	28
	(1)PT調査データの特徴	28
	(2)PT調査データの加工手順	29
	(3)使用した指標と定義	32
2.3	高齢者の外出状況の平均的特徴と変化	33
	(1)外出率にみる平均的特徴と変化	33
	(2)外出形態の平均的特徴と変化	35
	(3)移動手段の平均的特徴と変化	37
	(4)活動内容の平均的特徴と変化	39
2.4	高齢者の外出の類型的把握と特徴の整理	41
	(1)高齢者の外出の類型化と変化動向の分析	41
	(2)空間的位置に応じた特徴及び変化の相違	45
2.5	小括及び課題の抽出	47
	注	49
	引用文献	51
	既発表論文	53

第3章

高齢者の外出状況の地区差とその影響要因

3.1	目的と方法	55
3.2	資料の内容と指標の定義	57
	(1)校区に基づく「地区」把握の意義	57
	(2)資料及び指標とその定義	60
3.3	高齢者の外出状況の地区差と要因の整理	65
	(1)外出状況への影響要因の予察的分析	65
	(2)地区の性格の整理	68
3.4	外出状況への地区的要因の影響	72
	(1)地区の性格の影響の量的評価	72
	(2)外出状況への地区的要因の影響の抽出と類型化	75
	(3)地区環境及び社会状態との対応関係からの考察	77
3.5	小括	79
	注	80
	引用文献	81
	既発表論文	82

第4章

外出行動の事例分析に基づく促進・抑制要因の考察

4.1	目的と方法	83
	(1)本章の目的	83
	(2)研究の方法	84
4.2	事例調査の概要	85
	(1)調査の目的と方法	85
	(2)アンケート調査結果の概要とサンプルの位置づけ	90
	(3)事例地区の外出状況と地区環境の概要	92
4.3	地区環境の違いに応じた高齢者の外出行動の相違	95
	(1)高齢者の主体的特性の検討	95
	(2)「主な外出範囲」にみる特徴と地区差	98
	(3)活動の場の分布と内容にみる特徴と地区差	101
	(4)高齢者による近隣空間への価値付けからの分析	105
4.4	高齢者の外出の促進・抑制要因に関する考察	107
	(1)高齢者の外出行動と生活環境の関係の整理	107
	(2)環境要因による「選択的作用」モデル	110
	(3)「選択的作用」を緩和するための課題	112
	注	115
	引用文献	117
	既発表論文	118

第5章

結論

5.1 本研究の総括	119
5.2 高齢者の外出行動を促進する市街地整備モデル.....	121
5.3 本研究の意義と展望	123

付録

既発表論文リスト	125
引用文献リスト	127
図表リスト	130
英文要旨	134

謝辞.....	137
---------	-----